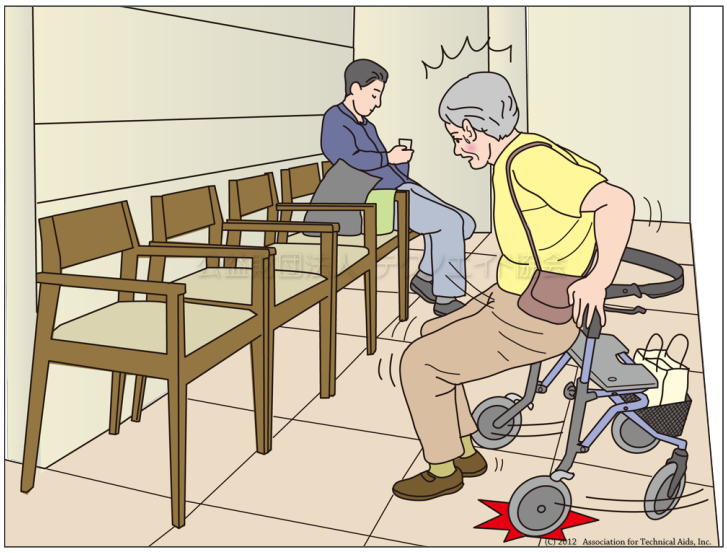
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：67
歩行車に座ろうとした時、転倒しそうになる

場面の説明

ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行車が動きバランスを崩した



利用シーン	立ち座り 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行車のいす部分に腰掛けるときには、ブレーキを確実にかけることが重要です。ブレーキがかかっていても、歩行車自体は軽量であり、立ち座りの際には動きやすいため、過度にハンドルに頼ったり、勢いをつけて動作をする人には不向きな場合があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ブレーキをかけ忘れていた
人：安全にゆっくりと座ることができる脚力がなかった
モノ：座るときは必ずブレーキをかけるよう注意喚起をする表示が目立たなかった
環境：このような危険に対し、注意を喚起してくれる人が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：67

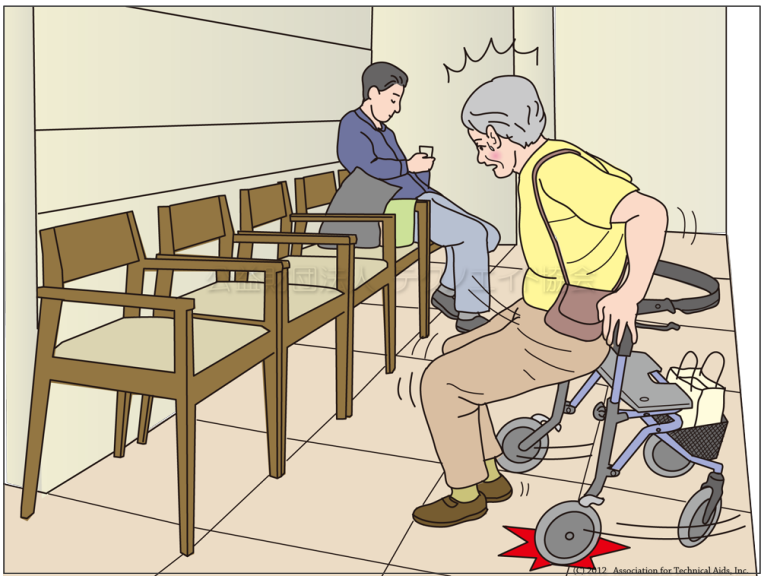
歩行車に座ろうとした時、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行車が動きバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.